

# 造作家具・内部建具

## ここでの監理者の心構え

いよいよ完成が近づいてきた。今回は、造作家具と内部建具のチェックを行う。  
いずれも開閉を実際に行いながら、確認することになる。

工事名	工期	年	月	日 ( )
	監理責任者			

項目	ポイント	✓	チェック項目
内部建具	敷居・鴨居・建具枠	<input type="checkbox"/>	材料の品質に問題がないか
		<input type="checkbox"/>	図面通りに溝を突いているか
		<input type="checkbox"/>	鴨居のちりが図面通りか
		<input type="checkbox"/>	吊りレールが木下地に直接留めてあるか
		<input type="checkbox"/>	敷居と周囲の床仕上高さは指定通りか
	開き戸・吊り戸・引戸	<input type="checkbox"/>	搬入された建具の仕様が適切か
		<input type="checkbox"/>	開き戸に適切な戸当たりが設けてあるか
		<input type="checkbox"/>	開き戸の開閉に問題はないか 問題がある場合は、建具の寸法変更や金具などで調整
		<input type="checkbox"/>	吊り戸や金具の開き戸の場合は、涙目の位置を現場で決定する
		<input type="checkbox"/>	吊り戸の吊りレールと下部の振れ止めの位置が合っているか
		<input type="checkbox"/>	吊り戸の吊りレールを設けない場合は、 上部に振れを防ぐ機構を設けておく
		<input type="checkbox"/>	引戸の開閉時の見え方は適切か
		<input type="checkbox"/>	建具の建付けに問題はないか（敷居や鴨居に断面の 大きいムク材を使う場合は要注意）

メモ

項目	ポイント	✓	チェック項目
家具	発注形態	<input type="checkbox"/>	大工造作の場合、実施図面に詳細な指示を書き込む
		<input type="checkbox"/>	大工造作の場合、大工が加工しやすい材料を選定する
		<input type="checkbox"/>	家具造作の場合、家具業者が提出する施工図の確認を行う
	施工現場	<input type="checkbox"/>	下地にしっかりと取り付けられているか
		<input type="checkbox"/>	家具下部にはできるだけ支持材を入れる
		<input type="checkbox"/>	設備をビルトインする場合は、棚内部や側面のコンセント位置について十分に検討しておくこと
		<input type="checkbox"/>	周囲の家具や壁との納め方
<input type="checkbox"/>	幅木・見切との取合いは図面通りか		
<input type="checkbox"/>	冷蔵庫や電子レンジが入るところは、内法有効寸法を必ず指示する		

メモ